

風

かぜ カゼ

2001.11-18発行No.39

◇安楽寺報恩講抄

当日(11/10)はあいにくの雨でしたが、大勢の方に参詣いただき、共々に尊いご縁を結ばせていただきました。有り難いことです。

今年の報恩講のお取次ぎは芝田正順師でした。先生は嘆異抄の二条を基に「極楽浄土への道」をどのように捉えるかについて話を進めていただきました。人生を仏教では生死(ショウジ)の世界として捉えます。生と死が別々に存在するのではなく、生きていること自体死に向かって時を重ねていることでもあります。生死を一元的に包括し、それを超えての生き方が求められます。それが人としての行き方であり、それが極楽浄土への道となり、即念仏の道となると結んでいただきました。

◇水屋が新しくなりました

玄関先にあった木造の水屋は40年余の間、墓参の方を主対象として、多くの皆さんの世話をしてくれましたが、この度、木造の水屋に代わって、鉄筋の水屋に変身しました。場所も少し本道寄りに移動しました。可愛がってください。

◇今月の安楽寺伝道掲示板

ひとりのつもりでも
大勢の後押しを
受けている
それを感じる心を
恩という



〒105-0014

東京都港区芝1-12-18 安楽寺 03-3451-1509